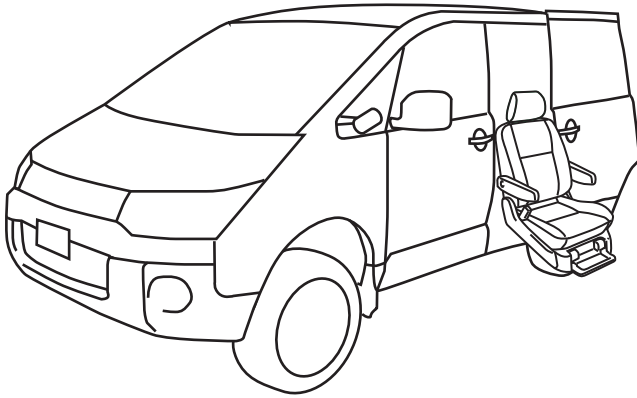
DELICA D:5

サイドムービングシート取扱説明書

Drive@earth

サイドムービングシート仕様車取扱説明書

このたびはデリカ D: 5 サイドムービングシート仕様車
をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、『サイドムービングシート』専用の装備に関する取り扱いについて説明してあります。『サイドムービングシート』専用装備以外の取り扱いについては、「標準車取扱説明書」で説明しています。

ご使用前にこの取扱説明書および「標準車取扱説明書」を必ずお読みください。

● この取扱説明書に説明されていること以外の取り扱いを行いますと、装備の性能を確保できないばかりでなく、ケガや車両の破損につながることがあります。

● 警告、注意は特に重要です。よく読んで守ってください。
守らないと身体への危害や車の破損につながる恐れがあります。

● この取扱説明書の中に使用されているマークと意味は下記のようになっています。

マーク	意味
⚠ 警 告	記載事項を守らないと、死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。
⚠ 注 意	記載事項を守らないと、傷害、事故につながるおそれがあること。
アドバイス	お車のために守っていただきたいこと。 知っておくと便利なこと。

・取扱説明書は、お車の中に保管してください。

・お車をゆずられる際は、本書も一緒におゆずりください。

・ご不明な点は、お近くの三菱自動車販売店にお尋ねください。

目　次

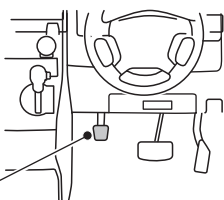
■ 各部の名称

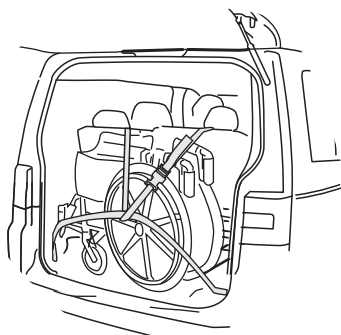
上昇
電源
下降
ワイヤレスリモコン
サイドムービングシート
車いす固定ベルト
サイドムービングシート
ヘッドレスト
アームレスト
アームレスト
リクライニングスイッチ
フットレスト
シートスライドスイッチ
シートムービングスイッチ

■ 取り扱い上の注意

⚠ 警告

パーキングブレーキ

・サイドムービングシートの操作は必ず坦な場所で行ってください。
坂道では、車や車いすが不安定になり、転倒や落下などにより思わぬけがをすることがあります。

・サイドムービングシートを回転・昇降するときは、安全のためパーキングブレーキを確実にかけて、セレクトレバーを P の位置にして、必ずエンジンを止めてください。

⚠ 注意

・エンジンを止めた状態でサイドムービングシートを長時間ご使用しますとバッテリーが上がる原因になりますので注意してください。

・後ろの席にお子様を乗せているときは、不意の動作に注意してください。

・車いすを車載する場合は、必ず車いすのブレーキをかけてから、固定用ベルトで固定してください。
走行中車いすが不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

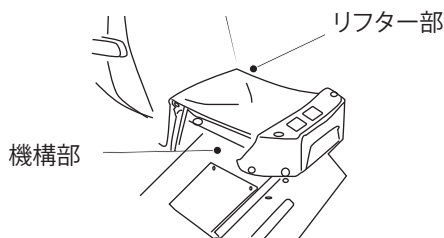
■ 取り扱い上の注意

⚠ 注 意

- サイドムービングシートには、チャイルドシートを取り付けないでください。
  このシートでチャイルドシートを使用することはできません。
- このサイドムービングシートの最大回転、昇降能力は、100kgです。
  これを越えての回転、昇降操作は、破損の原因となります。

■ 操作上の注意

⚠ 警 告

回転、昇降操作は介護する人が行ってください。シートに座っている人が操作すると、手や腕などをはさんだりぶつけたりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
　また、お子様には操作させないでください。

回転、昇降時はリフター部に乗ったり、機構部に触ったりしないでください。手や足などをはさまれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注 意

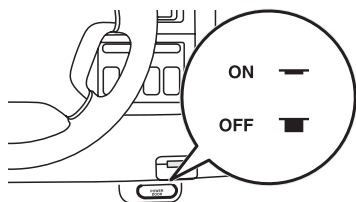
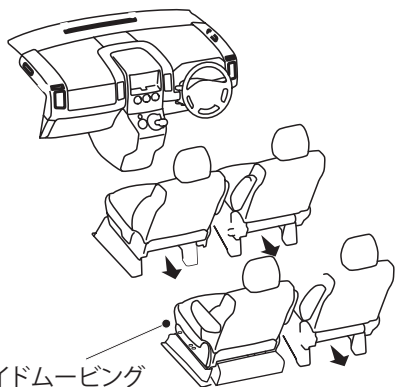
サイドムービングシートの操作を誤ると、思わぬ事故につながるおそれがあります。次のことをお守りください。

＊ シートを操作する前に、シート下降位置周辺に障害物がないことを確認してください。

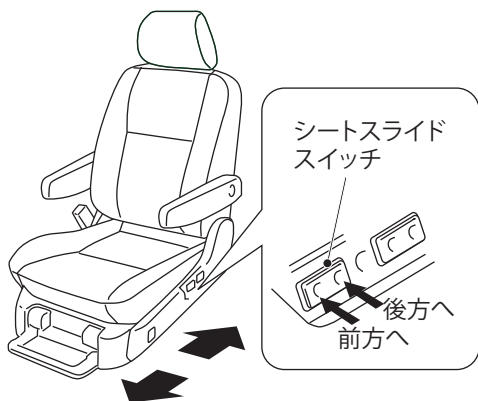
＊ シートを操作する前に、シートに座っている人の体がアームレストの外側に出ていないことを確認してください。

＊ 回転、昇降操作をする前にシートベルトがはずれていることを確認してください。

■ 操作上の注意

アドバイス

電動スライドドア仕様車において電動スライドドアメインスイッチが "ON" のときは、サイドムービングシートが格納位置以外の位置で助手席側電動スライドドアを閉めようとしても "ピーピーピー"とブザーが鳴り作動しません。

リヤヒーター付仕様車において、ムービングシート下からの温風吹出しがなくなるため、3 列目左側シートにお座りの方の足元が暖まりにくくなります。

■ シートの調整

● 前後位置調整

○ シートスライドスイッチを押している間、シートが前後に動きます。

○ スイッチから指を離すとシートはその位置で止まります。

アドバイス

シートは回転開始位置から前方に100mm移動することができます。

シートが車外に出た状態でシートスライドスイッチを操作しても、シートは動きません。

● リクライニング調整

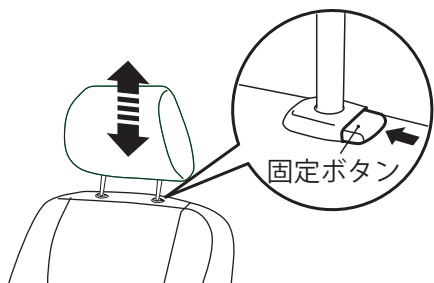
○ リクライニングスイッチを押している間、背もたれが前後に動きます。

○ スイッチから指を離すとシートはその位置で止まります。

アドバイス

背もたれの前後位置が終点まで移動したあとにスイッチを同一方向に押し続けないでください。故障の原因となります。

サイドムービングシートはフルフラットシートにすることはできません。

● ヘッドレスト上下位置調整

○ 走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

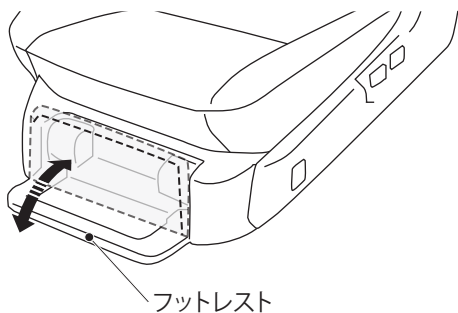
○ 上げるときはそのまま引き上げます。

○下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。

○ 取りはずすときは、固定ボタンを押したまま引き抜きます。

⚠ 警 告

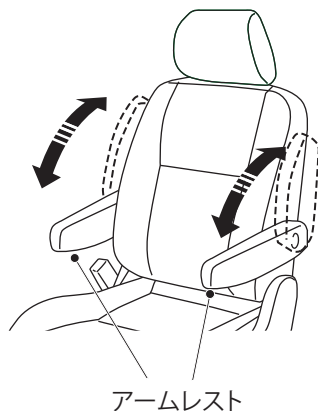
ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
走行前に必ず取りつけ、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

● フットレスト

○ 前に倒して使用します。

○ 回転、昇降操作中は、介護される人の足を乗せておいてください。

⚠ 注 意

フットレストを上げ下げするときは、必ずフットレストの先端部を持ってください。
回転部の近くを持つと回転部で指をはさみ、けがをするおそれがあります。

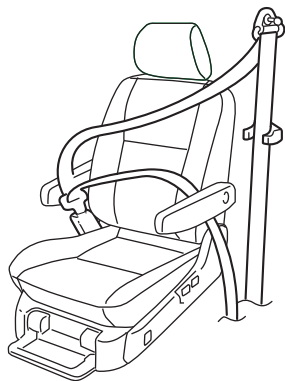
● アームレスト

○ 前に倒して使用します。
回転、昇降操作中は、前に倒しておいてください。

アドバイス

アームレストに腰をかけたり荷物をのせるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

● シートベルト

○ 3点式のシートベルトです。使用方法は標準車と同様ですので、標準車取扱説明書の『シートベルト』をご覧ください。

⚠ 警 告

シートベルトは、正しく装着しないと衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な障害を受けるおそれがあり危険です。
なお、シートベルトは必ずアームレストの下を通して着用してください。

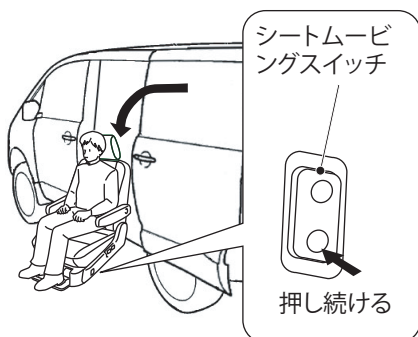
アドバイス

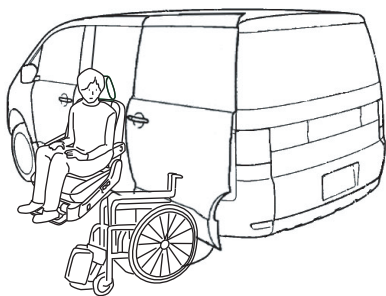
アームレストを上げた状態にすると、シートベルトの着用が容易になります。

■ シートの降ろしかた

① 助手席側スライドドアを全開にし、シートベルトが外してあることを確認します。

② アームレストを前に倒します。このとき座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認してください。

③ フットレストを前に倒して、足を乗せます。

④ シートムービングスイッチを下に押し続けると "ピーッ" とブザーが鳴り、シートが回転しながら前方へスライドし、さらに外側へスライドして下降します。
また、途中でスイッチから手を離せばその場で停止させることができます。

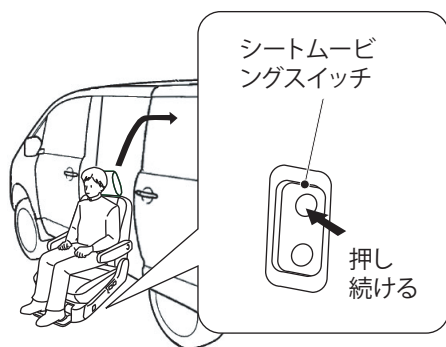
⚠ 注 意
シートを回転、昇降するときは、シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。

⑤ アームレストを上げて、車いすなどに乗り換えます。

アドバイス

シートムービングスイッチを押すと、スライド、リクライニングは、いったん格納位置の戻ってから、回転、下降を開始します。

サイドムービングシートを下降させたときは、そのまま放置をしないでください。特に炎天下、雨天、寒冷地などにおいて、カバー類の変形、モーター、送りネジの錆び付きなどのおそれがあります。

シートが回転を開始した直後から回転が終了するまでの位置で、シートムービングスイッチから手を離すと“ピピピッ”とブザーが鳴り続けます。

■ シートの上げかた

① 車いすなどから乗り換え、アームレストを倒します。このときシートに座っている人の体がアームレストの内側にあることを確認してください。

② シートムービングスイッチを上におしつづけるとシートが上昇します。
上昇が終了すると続けて車内へスライドし、回転しながら格納位置まで後方へスライドします。シートが格納位置に戻ると“ピピッ”とブザーが鳴ります。
また、途中でスイッチから手を離せば、その場で停止させることができます。

⚠ 注意

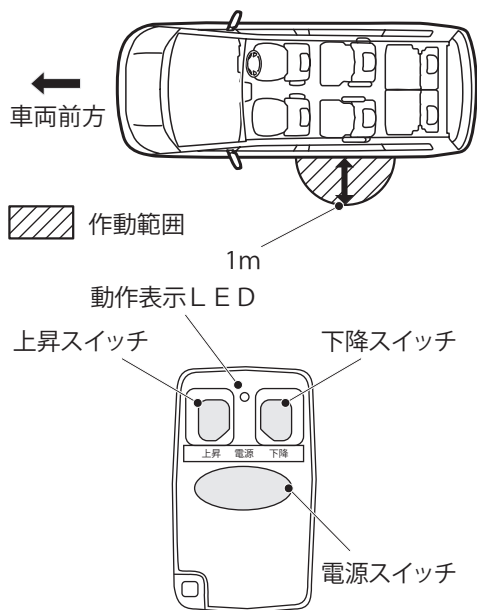
シートを回転、昇降するときは、シートに座っている人の頭や体が車体にぶつからないように注意してください。

シートが格納位置に戻らないときは、このシートを使用しないでください。ブレーキをかけたときなどに、シートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

シートが回転を開始してから格納位置に戻る直前までの位置で、シートムービングスイッチから手を離すと、“ピピピッ”とブザーが鳴り続けます。

■ ワイヤレスリモコン

○ 助手側スライドドアを開けた状態で、約１m離れたところからサイドムービングシートの回転・スライドおよび昇降操作をすることができます。

⚠ 警告

ワイヤレスリモコンでサイドムービングシートを操作するときは、必ず平坦な場所でセレクトレバーを Ⓟ の位置にし、パーキングブレーキを確実にかけてください。

⚠ 注意

ワイヤレスリモコンの作動範囲は1mですが、安全に使用していただくため、以下のことを必ずお守りください。

＊ 乗員の体が見える位置で、乗員の頭・腕・足先などが車体とはさまれないことを確認できる距離で操作してください。

＊ シートまたは乗員の体に手を添えるなどして操作してください。

アドバイス

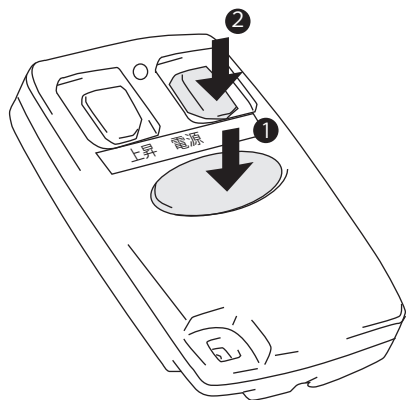
「下降」または「上昇」スイッチを押してもシートが作動しない場合や著しく作動可能距離が短くなった場合、または作動表示ＬＥＤが暗くなったり、点滅しなくなった場合、電池の消耗が考えられます。16ページの「ワイヤレスリモコンの電池交換」をご覧ください。

ワイヤレスリモコンは電子部品です。故障の原因となりますので、以下のことをお守りください。

＊ ダッシュボードの上など、高温になるところに放置しないでください。
＊ 分解しないでください。
＊ 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
＊ 水にぬらさないでください。

ワイヤレスリモコンは、周囲の状況により作動可能距離がかわることがあります。

送信機もしくは受信機を交換したときは、受信機のＩＤコードを登録する必要があります。登録手順の詳細につきましては、三菱自動車販売店までご連絡ください。

● ワイヤレスリモコンの操作方法

① 助手席側スライドドアを全開にします。

② ワイヤレスリモコンの電源スイッチを押し（❶）３秒以内に「下降」または「上昇」スイッチを押します。（❷）

- 「下降」または「上昇」スイッチを押すとシートが作動します。
- 「下降」または「上昇」スイッチを押している間シートが作動し作動表示ＬＥＤが点滅します。
- 「下降」または「上昇」スイッチから指を離すと、シートはその位置で止まります。
- 再びシートを動かすときは、前の動作から３秒以内であれば、「下降」または「上昇」スイッチを押すとシートが作動します。前の作動から3秒以上経過した場合は、再度電源スイッチを押した後、「下降」または「上昇」スイッチを押してください。
- シートが自動的に止まったらスイッチから指を離してください。

アドバイス

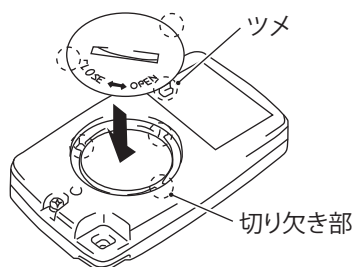
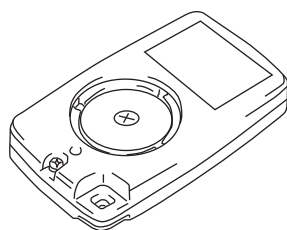
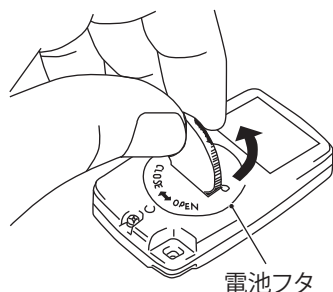
スライドドアが閉まっていると、「下降」または「上昇」スイッチを押てもシートは作動しません。

継続的に「下降」または「上昇」スイッチを押さないでください。故障の原因となります。

周囲の電波状態により、「下降」または「上昇」スイッチを押してもシートが作動しなくなることがあります。そのときは以下のことを行なってください。

＊ 立つ位置をかえて操作してください。

＊ シート側のシートムービングスイッチにて操作してください。

● ワイヤレスリモコンの電池交換

① コインを1枚と新しい電池を用意します。

・使用電池…リチウム電池CR2032

② ワイヤレスリモコンの電池のフタをコインを使ってゆるめ、電池のフタをはずします。

③ 古い電池を取り出し、新しい電池の⊕側を上にして挿入します。

④ 電池のフタのツメを切り欠き部にあわせてはめ込みます。

⑤ 電池フタをコインを使ってしっかりと締め付けます。

⑥ 電池交換完了後、電源スイッチを押し、「下降」または「上昇」スイッチを押して動作表示ＬＥＤが点滅することを確認します。

⚠ 注 意

電池および取り外した部品は、とくにお子様が飲みこまないようにご注意ください。

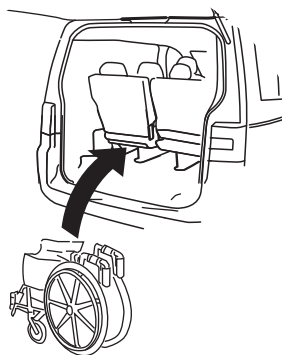
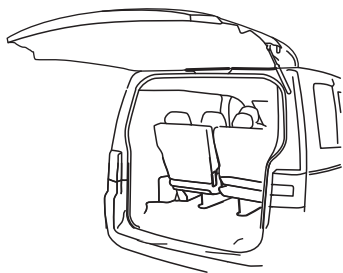
アドバイス

・電池交換時には、部品を紛失しないようにご注意ください。

・電池は販売店、時計店、カメラ店などでお求めください。

・電池の ⊕ 極と ⊖ 極は必ず正しい向きにして取り付けてください。

・電池挿入部の電極を曲げたり、ゴミや油など付着しないようご注意ください。

■ 車いすの収納のしかた

① テールゲートを全開にします。

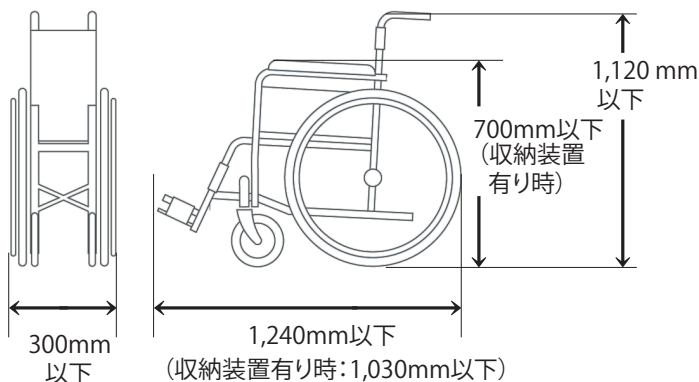
② 車いすを収納するため、サードシートのスライドを最後端より前方へ１ノッチ以上移動させ、背もたれの角度を起こし、車いすが収納できる状態にします。

アドバイス

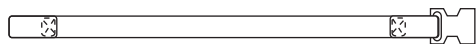
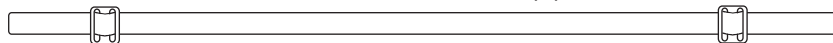
サードシートは車いすのサイズに合わせて調整してください。
＊ サードシートは標準車の取扱説明書に準じて調整してください。
＊ 車いす収納装置装着車は「車いす収納装置取扱説明書」をご覧ください。

③ 車いすを折りたたみ、車いすを横向きにのせます。このとき車いすのブレーキをかけてください。

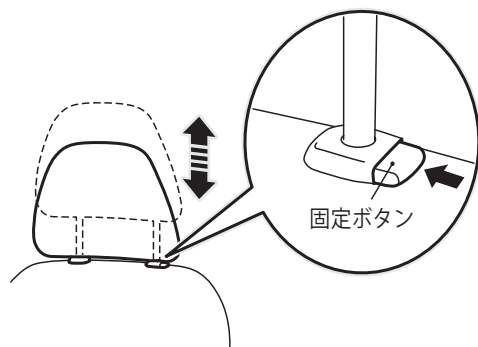
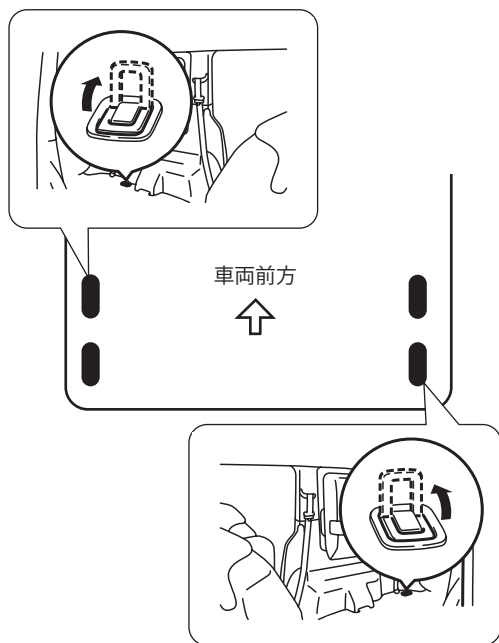
● 荷室に収納が可能な車いすのサイズの目安　（7名乗車時）

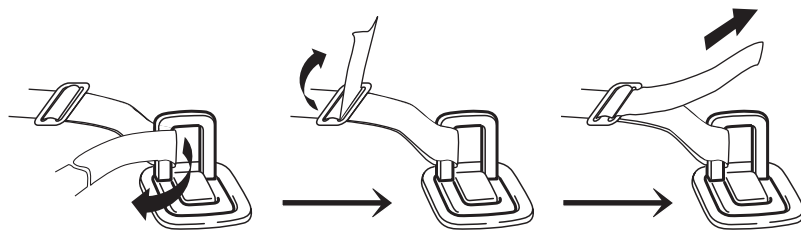
○ 下表のサイズの車いすが荷室に収納可能です。
お客様の**車いすのサイズ**を確認してください。

・ステップやグリップ等、各部を折り畳んだ状態での寸法となっております。
・寸法条件を満たしている場合でも、形状によっては搭載できない車いすがあります。

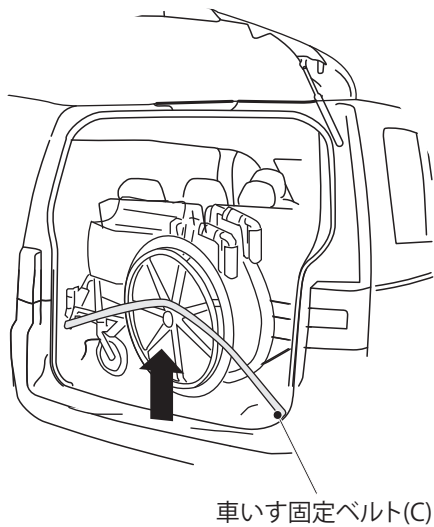
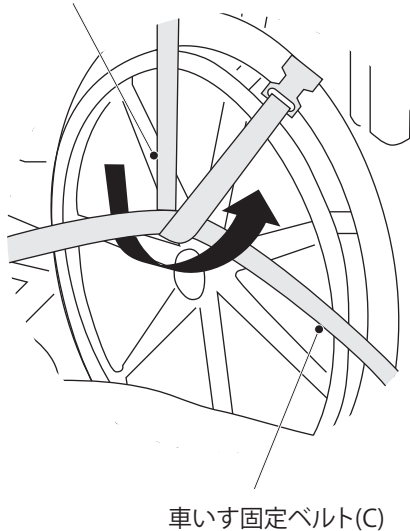
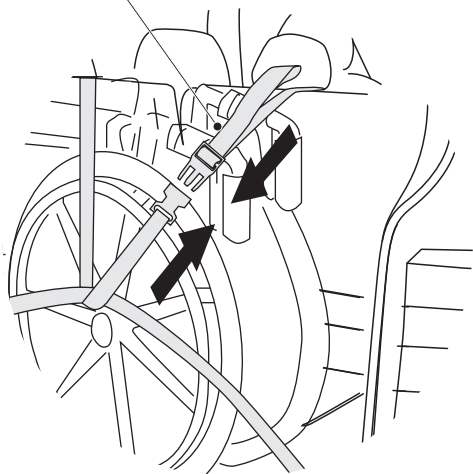
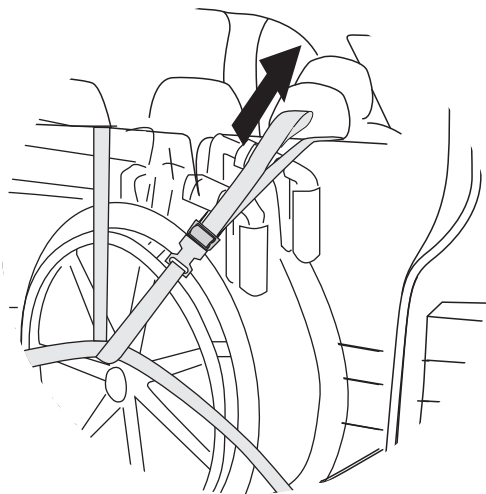
■ 車いす固定ベルト

● 車いすを固定する時に使用する部品

○ 車いす固定ベルトはサイドムービングシート仕様車に標準で装備されています。

○ 新車架装時は、あらかじめ取り付けされていますが、取り外している場合は、次の要領で取り付けしてください。

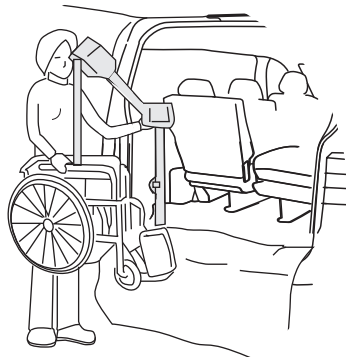
① サードシートの左右ヘッドレストをシートから外し、図のようにベルトを取り付けます。

② ラゲッジルーム内の左右ラゲッジフックを起こし、車いす固定ベルト(C)を取付けます。
（図の位置のラゲッジフックを使用してください。）

アドバイス

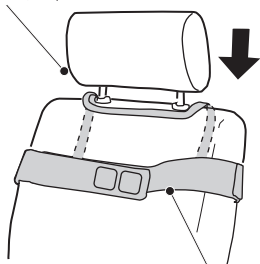
車いす固定ベルト(C)の通し方

■ 車いすの固定のしかた

① 車いす固定ベルト(C)が車いすのほぼ中心にくるように持ち上げます。

② 図のように車いす固定ベルト(A)を車いす固定ベルト(C)に通します。

③ 車いす固定ベルト(B)と車いす固定ベルト(A)のバックルを ″カチッ″ と音がするまで押し込みロックします。

④ 車いす固定ベルト(B)を引っ張り車いすを固定します。

⑤ 車いすを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認します。

■ 架装オプション

● 車いす収納装置（電動式）

◯ ラゲッジルームへの車いすの積み降ろしをサポートする電動式収納装置です。

◯ 詳細については、『車いす収納装置取扱説明書』をご覧ください。

● 胸部固定ベルト

◯ 胸部固定ベルトはムービングシートに着座しているときに、上半身を固定するために使用します。

取付け方

一旦ヘッドレストを取り外し、図のようにマジックファスナー部を前側にして取り付けます。
このとき、ストラップがヘッドレストの支柱に引っかかるようにします。

⚠ 警 告

胸部固定ベルトは、シートベルトではありません。走行中は必ずシートベルトを着用してください。

着用のしかた

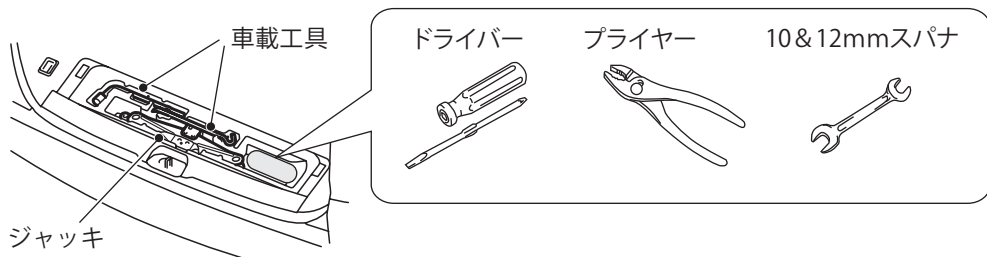
胸部固定ベルトを胸部の密着させ、マジックファスナーでしっかり止めます。

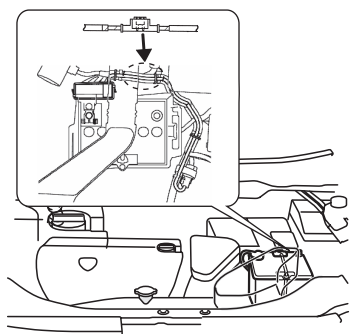
アドバイス

シートベルトは、胸部固定ベルトをしたままでも着用できます。

■ 万一のとき

● 工具

○ サイドムービングシートを車内にもどすとき、以下の工具が必要となります。
（ラゲッジルーム内のラゲッジフロアボード下に格納されています。）

● ヒューズ

ヒューズ（車両側）

○ ヒューズ容量 ……………… ３０Ａ

○ エンジンルーム内バッテリー奥側のハーネスにヒューズケースがあります。

ヒューズ（サイドムービングシート側）

○ 助手席ムービングシート左側下部カバー内にヒューズケースがあります。

○ ヒューズを点検・交換するときは、下部カバー（クリップ５本で固定されています）を取りはずします。

○ ヒューズ容量 ………２０Ａ,３０Ａ

● 回転、昇降しないとき

① 車両のバッテリーを点検してください。

② バッテリー上がりではないときは、ヒューズを点検してください。

③ ヒューズがきれているときは、必ず同容量のヒューズと交換してください。
また、きれていないときは、三菱自動車販売店で点検を受けてください。

⚠ 注 意

ヒューズのかわりに針金、銀紙などを使用しないでください。配線が過熱焼損し、火災になるおそれがあります。

アドバイス

取り換えてもまたヒューズが切れる場合は、三菱自動車販売店で点検を受けてください。

● ムービングシートが正常に作動しないとき

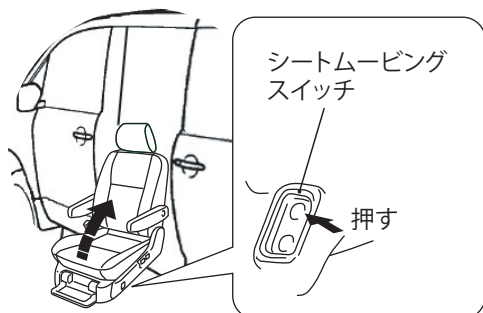
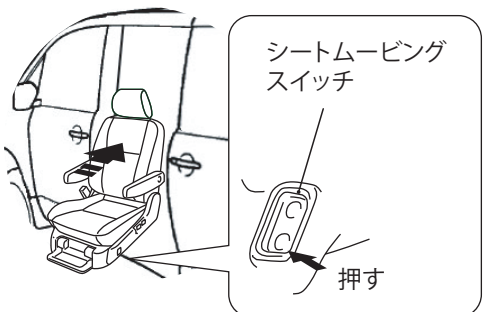
⚠ 警告

格納位置に戻るまでは、サイドムービングシートに座らないでください。

アドバイス

格納操作を行った後は、シートムービングスイッチを操作して、シートが正常に作動することを確認してください。

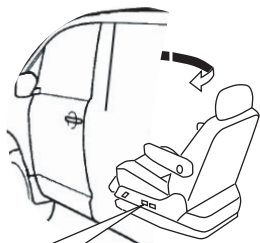
シートが格納位置以外で、バッテリーやヒューズを外して再接続したときや、ムービングシート作動中にエンジンをかけたときは、正常に作動しなくなりますので、以下の手順で格納操作を行ってください。

スイッチを押すと、シートが動くとき

① シートムービングスイッチの上側を押続けて、シートが自動的に止まるまで上昇させます。

② シートムービングスイッチの下側を押し続けて、シートが自動的に止まるまで車内へスライドさせます。

③ フットレストを折りたたんだ状態でシートが車体にぶつからないよう確認しながら、回転、スライドの操作を交互にくり返し、シートを格納位置へ戻します。

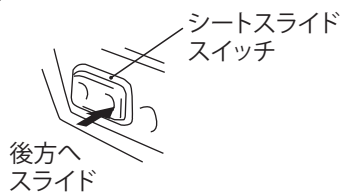
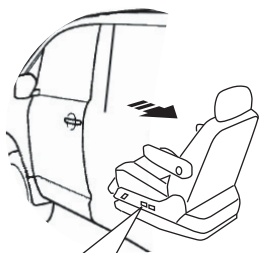
アドバイス

シートが格納位置に戻ると”ピピッ”とブザーが鳴ります。

回転の操作

○ シートスライドスイッチの前側を押してシートを車内側へ回転させます。

アドバイス

シートスライド スイッチの前側と同時にシートムービングスイッチの上側を押すと、シートの作動は逆（車外に回転）となります。

スライドの操作

○ シートスライドスイッチの後側を押して後方へスライドさせます。

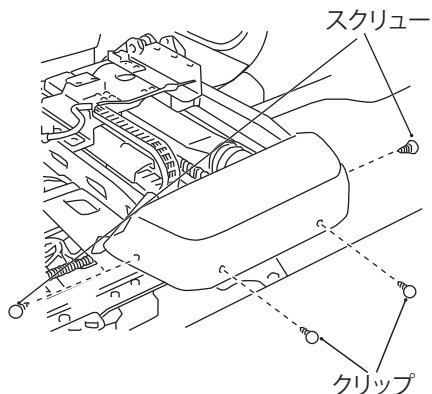
アドバイス

シートスライドスイッチの後側と同時にシートムービングスイッチの上側を押すと、シートの作動は（前方へスライド）となります。

スイッチを押すとブザーは鳴るがシートが動かないとき
(かすかに動く場合もあります)

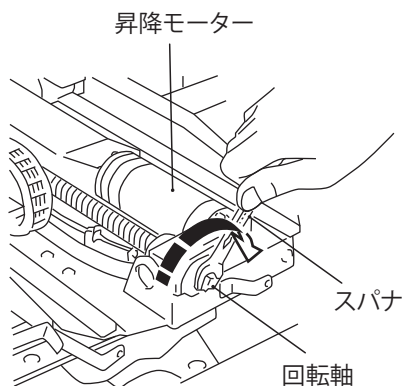
⚠ 注 意

シートを手動操作している間はシート格納スペースに手や足を入れないでください。シートの可動部で手や足をはさみ、けがをするおそれがあります。

シートが昇降途中で動かなくなったとき

① エンジンルーム内のヒューズ(車両側)を外します。(ヒューズ/P.22)

② リヤカバーのクリップ２本・スクリュー２本をはずし、カバーをはずします。

アドバイス

取りはずした部品は袋に入れるなどして、紛失しないように注意してください。再組みつけ時、必要となります。

③ 昇降モーター先端より突出した回転軸をスパナで回らなくなるまで回します。

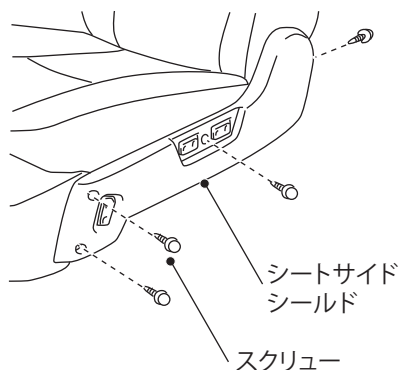
・回転軸を右に回すとシートが上昇します。

④ エンジンルーム内のヒューズ(車両側)を取り付けます。

⑤ フットレストを折りたたんだ状態でシートが車体にぶつからないよう確認しながら、回転、スライドの操作を交互にくり返し、シートを格納位置へ戻します。(回転、スライド操作/P.26)

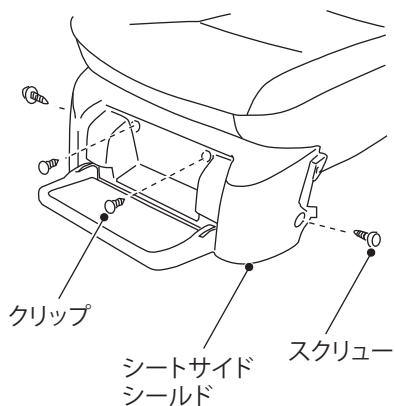
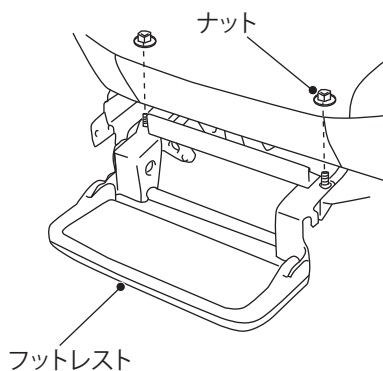
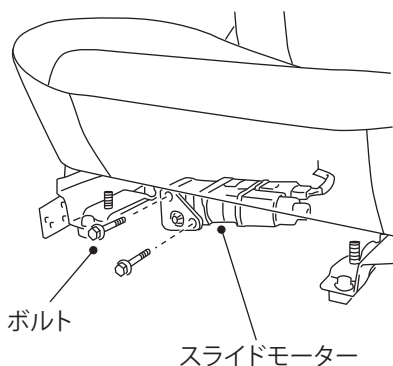
アドバイス

シートが格納位置に戻ると"ピピッ"とブザーが鳴ります。

シートが外スライド途中で動かなくなったとき

① エンジンルーム内のヒューズ（車両側）を外します。（ヒューズ/P.23）

② シートサイドシールドのスクリュー4本をはずし、シールドをはずします。（左右とも）

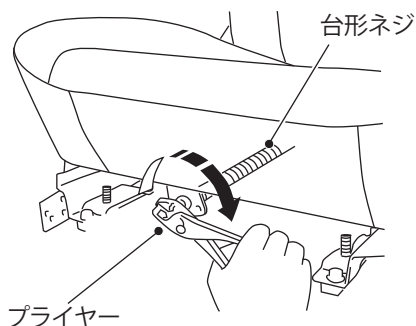
アドバイス

取りはずした部品は袋に入れるなどして、紛失しないように注意してください。再組みつけ時、必要となります。

③ シートサイドシールドのスクリュー２本・クリップ２本をはずし、シールドをはずします。

④ ナット2本をスパナではずし、フットレストをはずします

⑤ ボルト２本をスパナではずし、スライドモーターを抜き取ります。

⑥ スライド用台形ネジ先端をプライヤーで回らなくなるまで、回します。

・台形ネジを右に回すとシートがスライドします。

⑦ エンジンルーム内のヒューズ（車両側）を取り付けます。

⑧ フットレストを折りたたんだ状態でシートが車体にぶつからないよう確認しながら、回転、スライドの操作を交互にくり返し、シートを格納位置へ戻します。（回転、スライド操作/P.26）

アドバイス

シートが格納位置に戻ると"ピピッ"とブザーが鳴ります。

シートが回転・スライド途中で動かなくなったとき

○ 三菱自動車販売店へご連絡ください。

● スイッチを押してもブザーが鳴らずシートも動かないとき

○ 三菱自動車販売店へご連絡ください。

■ お手入れ

アドバイス

ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみ、強度低下などの原因になります。

● シート地・胸部固定ベルト

- 汚れを取るときは、中性洗剤を薄めてやわらかい布に含ませ、軽くふき取ります。更に水にひたした布を固くしぼってふき取ります。

- 汚れがひどいときは、三菱指定のルームクリーナーをお使いください。ルームクリーナーに記載してある説明をよく読んでからお使いください。

⚠ 注 意

ルームクリーナーを使うときは、ドアや窓を開け、換気してください。

● 樹脂カバー

- 通常やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めてやわらかい布に含ませ、軽くふき取ります。更に水にひたした布を固くしぼってふき取り、更に乾いたやわらかい布で水分をふき取ってください。

三菱福祉車両

HeartyRun

ハーティーラン シリーズ

- よくお読みになって、ご使用下さい。
- 取扱説明書は車の中に保管しましょう。
- 車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承下さい。

架装メーカー
株式会社　マルビシカンパニー
〒485-8505 愛知県小牧市大字本庄1251番地3
Tel：0568-79-1161　　Fax：0568-79-7271

この取扱説明書の内容は2008年11月現在のもので、仕様及び装備は予告無く変更することがあります。

XSG-003　2008.11第2版